

ナガエツルノゲイトウ焼却実験報告

毎年手賀沼統一クリーンデイ等で、手賀沼ふれあい護岸のナガエツルノゲイトウ（以下、ナガエ）を鎌等で駆除していますが、駆除しきれず根まで除去できていません。草焼きバーナーで焼却すると効果的に駆除できるのではないかと参加者から提案があり、検証することになりました。

使用機材

- 製品名：草焼きバーナーPro KB-300（新富士バーナー株式会社製）
 ●寸法/バーナー部：1,170mm ●火口径/直径 80mm（外径） ●使用燃料/灯油
 ●連続燃焼可能時間/約 25～50分 ●発熱量/70.9kW（61,000kcal/h）

※我孫子市手賀沼課がより、公園緑地課へ公園内行為許可申請、消防署へ届け出を提出



第1回 2022年9月5日（月）13:00～14:00

実験エリア



参加者 美手連 6名、我孫子市手賀沼課 2名、白井市環境課 1名

焼却作業



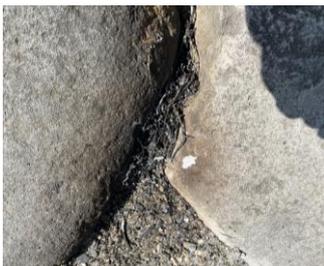
一番繁茂していた所の焼却作業



石の隙間のナガエを強い火力で焼き切る。



徹底的に焼き切っていく。



しっかり焼却した箇所を掘り起こすと、ナガエの葉や茎は燃えても根は残っていた。再度根を焼却した。

第1回焼却実験の検証

- 1回だけの焼却箇所と再度徹底的に焼却した箇所の発芽状況を今後比較していく。
- 9月25日の美手連定点観察では、駆除した箇所はすでに繁茂していた。駆除後1週間くらいで再生か。

第2回 2022年10月12日(月) 13:00~14:30

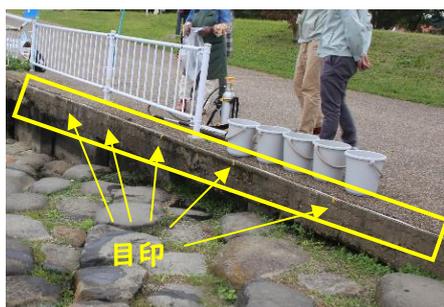
実験エリア



- 焼却エリアに手賀沼公園の北側護岸を追加した。
- バーナーを2台増やし3台で作業を行った。

参加者 美手連4名、柏市環境政策課2名
白井市環境課1名

焼却作業



位置確認用に目印をつけた



バーナー3台で焼却作業



前回駆除した場所に再繁茂



北側護岸の上部割れ目から繁茂



焼却作業の様子



第2回焼却実験の検証

- 第1回目で焼却した所よりナガエが再繁茂した。
- 第1回目で根を再焼却した所は場所を詳細に指定しなかったため、再繁茂の有無は確認できなかった。
- 全体としてふれあい護岸のナガエの繁茂状況は、前回実験時より減少していた。
- 焼却バーナーを1台より3台に増やしたことにより作業効率が上がり、焼却面積が増加した。
ふれあい護岸+約 13 m²、手賀沼公園側護岸+約 6 m²
- 手賀沼公園北側護岸のナガエは、護岸の割れ目より根が出ており、このままでは永遠に発芽する。
例えばモルタルで割れ目を塞ぎ、ナガエが発芽しないようにする工夫が必要か。

2023年1月6日農研機構の嶺田拓也さん来訪 視察後のコメント

- 刈り取って切れ端をまき散らすよりは、バーナーで焼き切るほうがよい。
- 炎が地下には行かないので、1~2回では不十分。何回もやると有効と思う。

第3回 2023年1月30日(月) 13:30~14:50

我孫子市都部谷津の農道に刈取り後、放置され根付いたナガエをバーナーで焼却実験した。(P41 参照)